

近年、全国各地で記録的な大雨が発生しています。今後は、札幌市においても、これまでに経験のない大雨が降ることも想定されますので、ハード対策とソフト対策を組み合わせ、効率的・効果的に雨水対策を進めていきます。

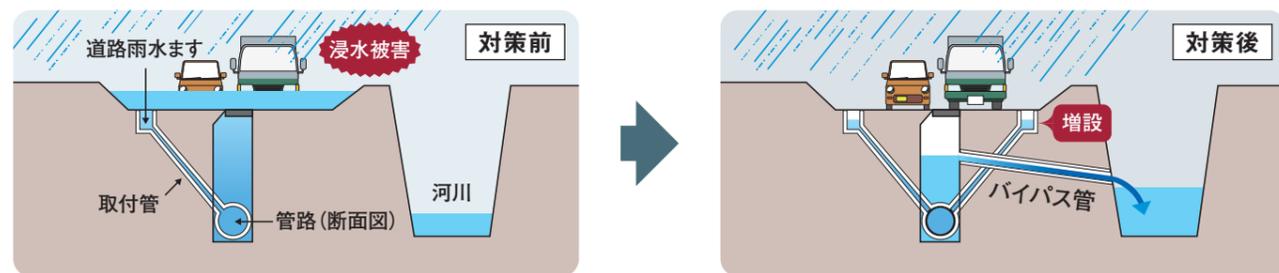
## 雨水拡充管などの整備

10年に一度程度の大雨(1時間雨量35mm)を排水することを目標に、昭和53年に策定したアクアレインボー計画に基づいて雨水拡充管や雨水ポンプ場の整備を進めており、整備が完了した市内の面積割合は9割に達しています。



## 窪地など雨水が集まりやすい場所への対策

周辺に比べて土地が低い窪地などでは、降った雨が集まりやすく、また、下水道から雨が溢れやすいことから、被害が大きくなりやすいため、周囲の地形状況などに応じた個別の対策を進めています。



対策例:道路雨水ますの増設・バイパス管の設置

## 協働による雨水流出抑制

市民や企業のみなさまにも行っていただきたい雨水対策として、雨水流出抑制の取組があります。

これは、雨を地中に浸透させたり、一時的にためたりすることで、下水道を溢れにくくする取組です。

雨に強いまちづくりをめざして、雨水流出抑制にご協力ください。

- 市民のみなさま：雨が地中に浸透するように庭や花壇を作る など
- 企業のみなさま：雨水貯留槽や雨水浸透ますの設置 など



### 大規模施設へのお願い

札幌市では平成23年4月より「札幌市雨水流出抑制に関する指導要綱」に基づき、雨水の流出量が多い大規模施設を対象に、雨水流出抑制をお願いしています。

対象となる大規模施設 (以下の全てに該当する施設)

- ① 公共下水道に雨水を排除する施設
- ② 3,000㎡以上の土地に設置する施設
- ③ 土地の半分以上が屋根や舗装に覆われる施設

札幌市 雨水流出抑制 [検索](#)



## 札幌市浸水ハザードマップ

札幌市浸水ハザードマップでは、想定し得る最大規模の降雨により想定される浸水区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しており、洪水に加えて内水氾濫についても浸水想定区域を確認することができます。

大雨災害から身を守るために、ハザードマップで浸水の危険度や避難方法などをご確認ください。



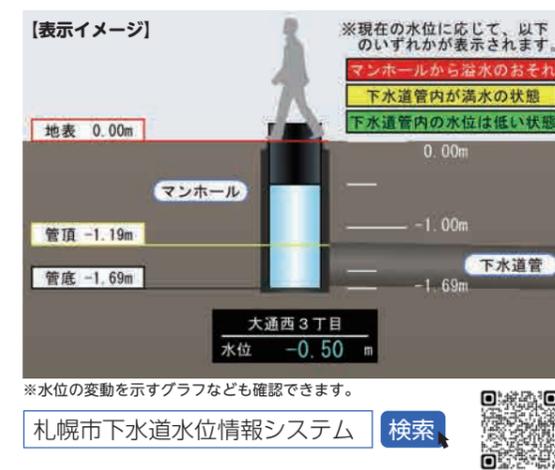
※インターネットでは、行政区ごとのハザードマップのほか、連合町内会ごとのハザードマップの電子版を掲載しています。

札幌市浸水ハザードマップ [検索](#)



## 水位情報の提供(札幌市下水道水位情報システム)

札幌市下水道水位情報システムでは、地下街などが集積する都心部の浸水に備えて、下水道の水位情報を提供しています。都心部の地下施設を管理するみなさまにおかれましては、利用者の方の避難誘導や出入口からの水の浸入を防ぐための止水板設置などを行う目安としてご活用ください。



札幌市下水道水位情報システム [検索](#)



●問い合わせ先 **事業推進部 下水道計画課** (☎011-818-3441)